

小樽市スポーツ施設長寿命化計画

(案)

令和5年〇月

小樽市教育委員会

目次

第1章 計画の概要

- 1-1 計画の背景と目的P 1
- 1-2 本計画の位置付けP 1
- 1-3 計画期間P 2
- 1-4 対象施設P 2～P 3

第2章 対象施設の現状と課題

- 2-1 対象施設の配置状況P 4～P 5
- 2-2 対象施設の利用状況P 5
- 2-3 これまでの大規模改修等の実績P 6
- 2-4 対象施設の現状P 7～P8

第3章 基本的な考え方

- 3-1 基本方針P 9
- 3-2 個別施設の評価手法P10～P12
- 3-3 個別施設の評価及び施設計画P13

第4章 計画の実施

- 4-1 個別施設の改修内容等P14
- 4-2 官民連携手法の検討P15
- 4-3 実施スケジュールP15～P16

第5章 計画の推進に向けて

- 5-1 計画の推進体制P17
- 5-2 計画の定期的な見直しP17

第1章 計画の概要

1-1 計画の背景と目的

本市におけるスポーツ活動の場である社会体育施設（以下「スポーツ施設」という。）の多くは、建設から数十年を経過しており老朽化が随所に見受けられますが、安全確保などのメンテナンスに止まっているのが現状です。加えて、少子高齢化とこれに伴う人口減少の急速な進行により、今後、本市におけるスポーツ施設において適当とされる質や量に変化していくことが予想されます。

このことから、早急に本市におけるスポーツ施設の状況を把握し、改修などを計画的に行うことで、施設の長寿命化及び財政負担の縮減・平準化を図りつつ、スポーツ施設の最適な配置について考慮する必要があります。

本計画は、単に老朽化したスポーツ施設を建設時の状態に戻すのではなく、安全性や利便性の確保など利用環境の質的改善を含む施設の長寿命化について、対策の優先順位の考え方や実施時期などを市民の皆さまにお示しするとともに、財政負担の縮減・平準化を図りながら、施設の安全性を確保し、性能を維持するために本計画を策定します。

1-2 本計画の位置付け

国は2013（平成25）年11月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、各地方自治体に対し公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画を策定するよう要請したことを受け、本市としても2016（平成28）年12月に「小樽市公共施設等総合管理計画」を策定し、基本的な方針を示したところです。

本計画は、令和4年2月に策定した「小樽市総合体育館長寿命化計画」とともに、「小樽市公共施設等総合管理計画」に基づく社会体育施設の基本的な方針や考え方を示す実施計画（個別施設計画）として位置付けます。

なお、小樽公園運動場、からまつ公園運動場、平磯公園運動場については、臨時ヘリポートが設置される可能性のある施設として、地域防災計画における位置付けがあります。

1-3 計画期間

本計画は、他の公共施設の長寿命化とも密接な関わりがあること等を踏まえ、本計画の終期も小樽市公共施設長寿命化計画を参照し、2023（令和5）年度から2058（令和40）年度までの36年間とします。なお、計画の内容は社会情勢の変化、人口やニーズ等の変化、事業の進捗状況等に応じて見直しを行うこととします。

1-4 対象施設

本計画の対象となるスポーツ施設は下記とおりです。

No.	施設名	所在地	構造	面積	設置年	施設の概要等	地域防災計画
1	小樽公園運動場	花園 5-88	全体盲暗渠 表層三和土	18,500 m ²	M21	グラウンド 2 面 バックネット 2 基 夜間照明 19 灯×4 基	ヘリポート
2	小樽桜ヶ丘球場	花園 5-3-3	内野 黒土 舗装 外野 天然 芝舗装	19,457 m ²	S23	野球専用球場 スプリンクラー15 基 観客席 2,620 席 駐車場 35 台	—
	同運営ハウス		鉄骨造地上 1 階建	207 m ²	S50	選手控室、事務室 シャワー室、トイレ	
3	手宮公園競技場	手宮 2-5-1	全天候型	25,181 m ²	S9	第 3 種公認競技場 観客席（スタンド）600 人 （土盛り）2,000 人	—
	同更衣室		木造地上 1 階建	181 m ²	S35	更衣室	
4	平磯公園運動場	若竹町 20	土舗装	11,600 m ²	S45	バックネット 2 基	ヘリポート
5	からまつ公園運動場	最上 2-3-1	天然芝舗装	17,784 m ²	S49	サッカー場 1 面 ラグビー場 1 面	ヘリポート
	同運営ハウス		木造折板葺	426 m ²	S56	会議室、更衣室、トイレ	
6	望洋サッカー・ ラグビー場	朝里川温泉 1-143	芝コート 天然芝舗 装・水位調 整貯水型シ ステム クレーコー ト 真砂土	202,000 m ²	H16	芝コート 2 面 クレーコート 1 面 駐車場 80 台 + 身障者 2 台	—
	同運営ハウス	朝里川温泉 1-143	木造亜鉛鉄 板	293 m ²	H15	更衣室、シャワー室、ト イレ、器具庫、放送設備	
7	小樽公園庭球場	花園 5-3-2	ダスト舗装	2,716 m ²	S3	テニスコート 3 面 夜間照明 3 基	—
	同管理運営ハウス		木造地上 2 階建	107 m ²	S54	会議室、更衣室、トイレ	
8	入船公園庭球場	入船 5-18-1	クレイ舗装	4,427 m ²	S42	コート 4 面 夜間照明 4 基 観客席 1,027 m ²	—
	同運営ハウス		木造地上 2 階建て	108 m ²	S57	会議室、更衣室、トイレ	

No.	施設名	所在地	構造	面積	設置年	施設の概要等	地域防災計画
9	からまつ公園庭球場	最上 2-3-1	グリーンダ スト	5,810 m ²	S56	コート 8 面	—
10	朝里川公園庭球場	桜 3-25	全天候アク リル系	1,600 m ²	H10	コート 2 面	—
11	朝里ダム湖畔園地運動 場	朝里川温泉 1-509	全天候アク リル系	21,000 m ²	H6	テニスコート 2 面	—
12	小樽公園弓道場	花園 5-1-1	安土、矢 道、矢取道	1,996 m ²	S16	6 人立	—
	同管理棟及び射場		木造地上 1 階建	270 m ²	S57	射場、事務所、会議室 役員室、トイレ	
13	潮見台シャンツェ	潮見台 2-12-6	コンクリー ト	21,530 m ²	S9	40m級 (K 点 56m) 30m 級 (K 点 44m) 20m 級 (K 点 25m) 夜間照明 13 基・48 灯 駐車場 15 台	—
14	祝津ヨットハウス	祝津 3-201	鉄骨造地上 2 階建	493 m ²	S50	ハウス面積 492.82 m ² 艇庫、運営室、会議室 更衣室、シャワー室 トイレ	—
15	勝納艇庫 勝納漕艇研修センター	築港 8-1 築港 8-1	プレハブ平 屋建	206 m ²	S53	倉庫	—
			木造地上 2 階建	139 m ²	S55	会議室、トイレ	—
16	銭函パークゴルフ場	銭函 3-165	芝生、 植栽	14,810 m ²	H14	A コース (9 ホール) B コース (9 ホール) 駐車場 約 80 台	—

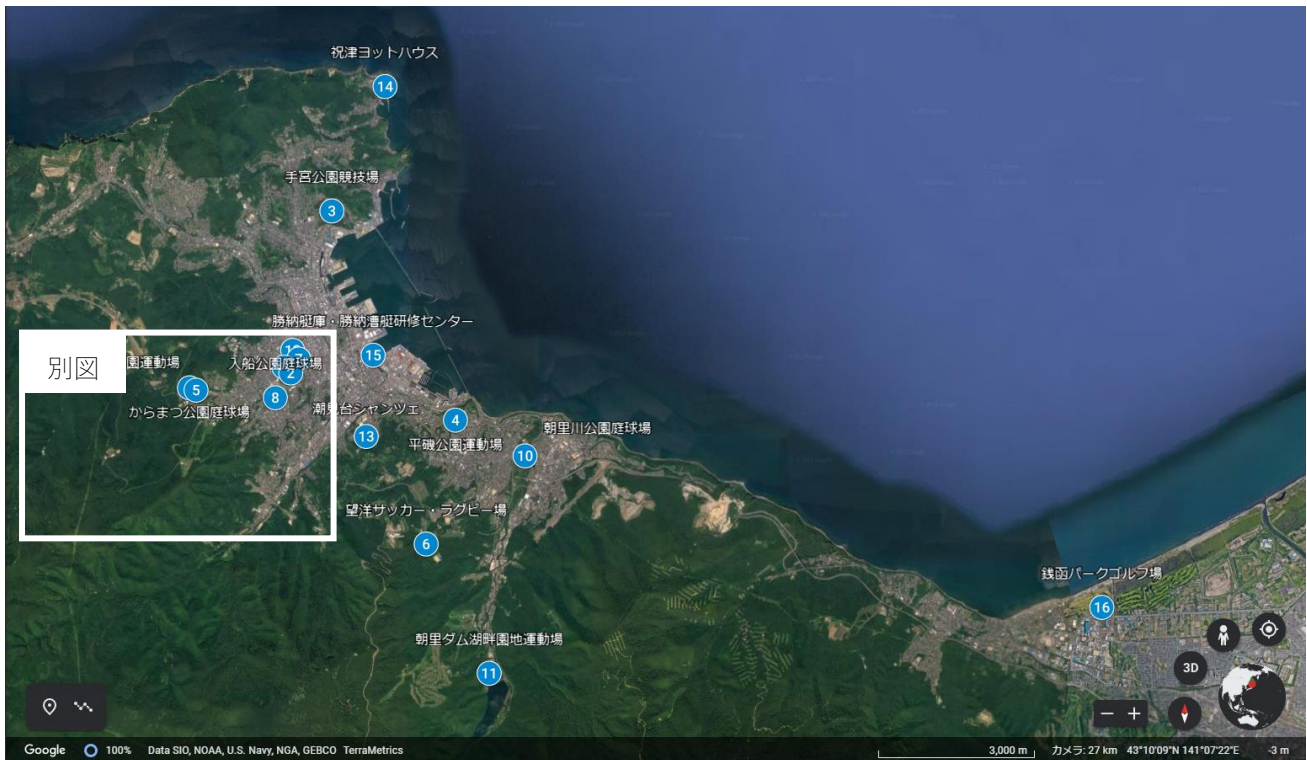
第2章 対象施設の現状と課題

2-1 対象施設の配置状況

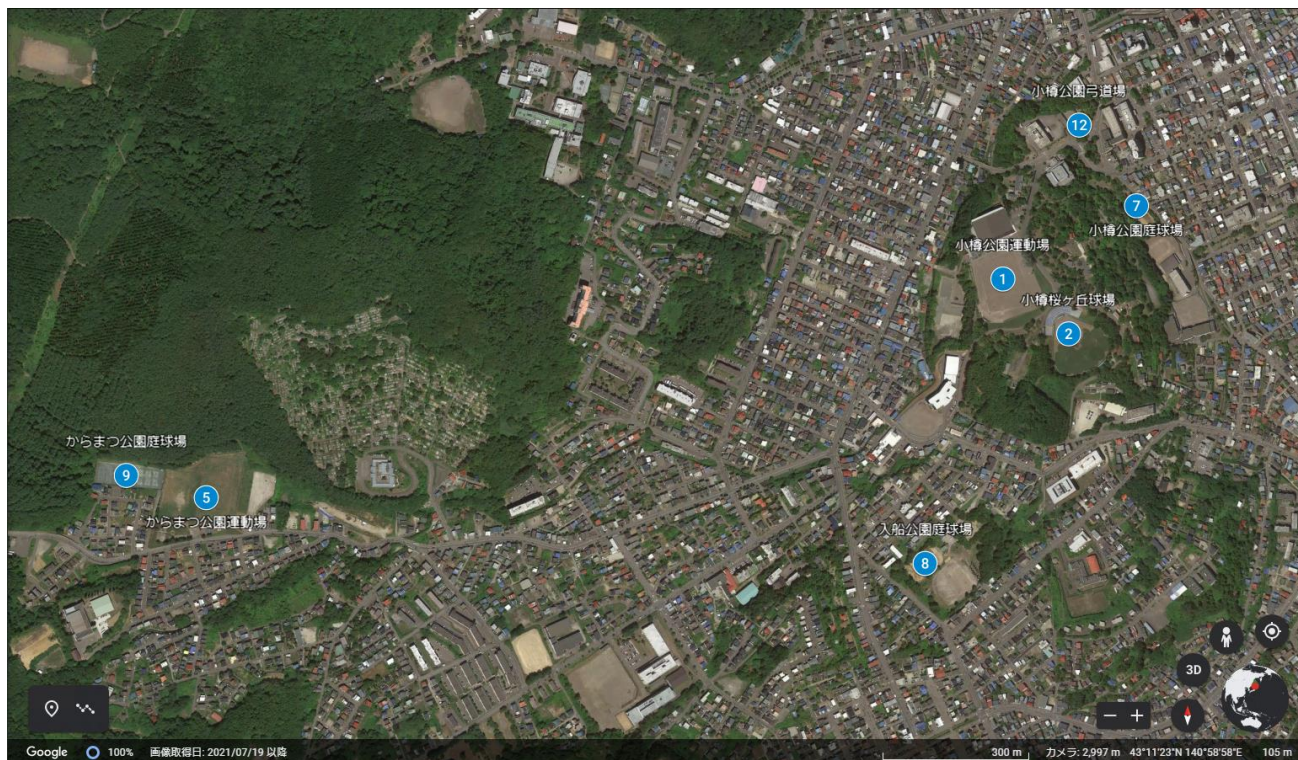
本市におけるスポーツ施設の配置状況については下記のとおりです。

No.	施設名	所在地	No.	施設名	所在地
1	小樽公園運動場	花園 5-88	9	からまつ公園庭球場	最上 2-3-1
2	小樽桜ヶ丘球場	花園 5-3-3	10	朝里川公園庭球場	桜 3-25
3	手宮公園競技場	手宮 2-5-1	11	朝里ダム湖畔園地運動場	朝里川温泉 1-509
4	平磯公園運動場	若竹町 20	12	小樽公園弓道場	花園 5-1-1
5	からまつ公園運動場	最上 2-3-1	13	潮見台シャンツェ	潮見台 2-12-6
6	望洋サッカー・ラグビー場	朝里川温泉 1-143	14	祝津ヨットハウス	祝津 3-201
7	小樽公園庭球場	花園 5-3-2	15	勝納艇庫・勝納漕艇研修センター	築港 8-1
8	入船公園庭球場	入船 5-18-1	16	銭函パークゴルフ場	銭函 3-165

【位置図】



【別図】



2-2 対象施設の利用状況

直近5年間（平成29年度～令和3年度）における市内スポーツ施設の利用人数は、年間約5万人～9万人程度で推移しています。テニスコートや弓道場を除き団体の専用利用が中心のため、スポーツ団体の減少や団員数の減少により利用者数は減少傾向にあります（令和元年度～令和3年度については新型コロナウイルス感染症の拡大による休館・休場あり）。

単位：人

No.	施設名	平成29年度	平成30年度	平成31(令和元)年度	令和2年度	令和3年度
1	小樽公園運動場	13,342	13,807	13,546	4,758	4,314
2	小樽桜ヶ丘球場	11,890	10,611	9,228	5,238	7,705
3	手宮公園競技場	7,752	7,996	7,595	3,102	5,913
4	平磯公園運動場	5,547	3,795	5,687	5,437	6,072
5	からまつ公園運動場	2,180	4,332	4,175	2,055	1,575
6	望洋サッカー・ラグビー場	10,445	11,530	9,552	4,797	6,166
7	小樽公園庭球場	3,409	3,305	3,437	1,808	3,190
8	入船公園庭球場	3,410	3,005	3,020	3,017	1,422
9	からまつ公園庭球場	2,762	1,594	1,402	1,444	1,433
10	朝里川公園庭球場	1,567	1,171	1,053	1,335	1,294
11	朝里ダム湖畔園地運動場	1,682	1,322	1,468	1,159	843
12	小樽公園弓道場	10,775	8,715	6,856	5,206	4,603
13	潮見台シャントツェ	540	390	25	0	804
14	祝津ヨットハウス	9,000	9,000	9,000	558	42
15	勝納艇庫・勝納漕艇研修センター	160	160	160	97	123
16	銭函パークゴルフ場	9,095	9,165	8,968	6,558	3,661
集計		93,556	89,898	85,172	46,569	49,160

2-3 これまでの大規模改修等の実績

過去30年間の市内スポーツ施設の主な整備・改修状況は、下記のとおりです（総事業費10,000千円以上）。

施設名	年度	整備・改修の内容	総事業費（千円）
小樽公園運動場	H2	給排水装置、芝張等整備	46,978
小樽桜ヶ丘球場	H4	擁壁、本部関等改修	99,689
	H5	観覧席、スコアボード、トイレ等改修	103,620
	H6	駐車場等改修	49,063
	H7	内外野等改修	71,595
	H27	内野クレイ外野等改修	113,670
手宮公園競技場	H5	トラック改修	48,997
	H11	全天候型改修	13,351
	H12	全天候型改修	388,542
	H26	トラック改修	19,548
平磯公園運動場	H10	グラウンド造成	84,428
からまつ公園運動場	H5	サッカー・ラグビー場芝改修	39,613
	H10	運営ハウス増築	30,387
望洋サッカー・ラグビー場 同運営ハウス	H16	新規造成	719,406
	H16	クラブハウス新築	49,274
からまつ公園庭球場	H7	グリーンダストコート改修	49,337
潮見台シャンツェ	H3	審判台新築、照明施設改修	150,817
	H28	ランディングバーン防護柵整備	23,878
銭函パークゴルフ場	H14	新規造成	49,841

2-4 対象施設の現状

市内スポーツ施設の多くは、昭和40年代から昭和50年代に建設されたものであることから、老朽化が進んでいる状態です。施設の現状や利用状況等を勘案しながら、対策の優先順位を決める必要があるため、調査員による施設の安全性等に関する調査を実施するとともに、利用者数・利用料金収入・維持管理費用など施設の経済性に関するデータを取りまとめました。

(1)施設の安全性等に関する調査

対象施設の現状については、「小樽市公共施設長寿命化計画」施設診断や、「小樽市公園施設等長寿命化計画」の施設点検と同様の評価手法により、安全性・耐久性・機能性に着目し、「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン（スポーツ庁）」「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き（文部科学省）」等に従って調査を行いました。

なお、スポーツ施設の敷地内に設置している建築物については、ほとんどが耐震診断の対象外であることから、敷地や建築物の健全度に着目した調査を実施しました。

●調査項目（安全性・耐久性・機能性）

項目	基礎情報
安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断の実施状況 ・耐震改修の実施状況 ・津波による浸水深 ・洪水による浸水深 ・急傾斜・土石流地域の指定有無 ・危険度（定期点検総括表を用いた点数） ・設備の劣化状況（ぐらつき、腐食など）
耐久性	<ul style="list-style-type: none"> ・飛来塩分による老朽化促進 ・施設カルテを用いた健全度（建物）
機能性	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の劣化状況（破損、塗装の剥離など） ・JR駅・バス停からの距離 ・LEDなど省エネ設備の設置状況 ・バリアフリー対応状況 など

●調査項目（健全度）※建物のみ

項目	基礎情報
敷地	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤 ・付属物（擁壁・塀、門） ・付属物（鉄塔・ポール・街灯）
建物	<ul style="list-style-type: none"> ・建物全体 ・外壁 ・建物内部 ・屋上・屋根 ・建物付属物

(2)施設の経済性に関する調査

対象施設について、利用者数・利用料金収入・維持管理費用など、施設の経済性に関するデータを取りまとめました。

●調査項目（経済性）

項目	基礎情報
収入	・利用料金収入 ・使用者数 ・その他収入（広告料等）
支出	・維持管理費用

第3章 基本的な考え方

3-1 基本方針

【方針1】既存施設の改修・修繕

人口減少や少子高齢化の進行により、スポーツ施設の利用者も減少傾向になることが見込まれる状況で、新たに施設を建設したり建替えたりすることは難しいことから、既存施設については改修・修繕により利用を継続していきます。改修にあたっては、高齢者、障がい者などが利用しやすい公共施設とするため、ユニバーサルデザイン化の推進に努めます。

【方針2】優先順位

スポーツ施設の運用に当たっては、利用者の安全確保を基本としつつ、改修や修繕により現状維持を図ります。建設後の経過年数や老朽化の度合い、利用状況、日常的な管理を行う団体の有無、複数施設の集積による多機能化の状況、大会の開催状況など総合的に勘案し、改修や修繕に関する優先順位を決定します。

【方針3】予防保全型管理

対処療法型管理手法ではなく、予防保全型管理手法を基本とすることで、施設の安全性と機能性を確保しつつ長寿命化を図り、中長期的に財政負担を抑制します。単に設置年からの経過年数で判断するのではなく、過去の大規模改修からの経過年数も参考にしながら、一般的な耐用年数よりも長く使用することを想定し、定期的な改修・修繕等を行います。

【方針4】財政負担の平準化

他のスポーツ施設の更新時期と重ならないよう、改修や修繕に関する優先順位に基づき、対策時期を分散化することにより、財政負担を軽減し修繕費用等の平準化を図ります。

【方針5】適正配置・適正規模

施設の状況や利用状況、類似施設の配置状況等を踏まえ、施設の継続や廃止を含めた適正配置に努めます。特にグラウンドやテニスコートなどのように、類似施設が複数あるものについては、施設の利用状況・利便性・経済性などを踏まえ、集約化や用途廃止も含めた検討を行います。

3-2 個別施設の評価手法

評価の手順は下記のフロー図に沿って行うものとし、安全性・機能性、経済性の評価をもって一次評価を行い、個別施設の方向性（維持・改善・改廃）を決定します。

次に、一次評価が「改善」若しくは「改廃」となった施設については、二次評価として対策優先度の評価を行い、個別施設計画（機能保持・総量削減）を決定します。

最後に、対策の優先順位は「再整備」⇒「除却」⇒「改修・修繕」とし、改めて対策優先度の評価を行うことにより、「再整備」「除却」「改修・修繕」の区分ごとに対策順位を決定します。

【個別施設の評価フロー図】



(1) 施設の安全性・機能性等に関する評価

スポーツ施設の安全性・機能性などに着目し、調査した基礎情報（施設の健全度、利便性、ハザードマップ区分など）を基に、施設の現状を「良」又は「劣」いずれかで評価します。

評価項目
・省エネ設備の導入の有無
・バリアフリー化の有無
・最寄り駅、バス停からの距離
・海岸からの距離
・耐震診断及び改修の有無
・ハザードマップ指定区域の有無
・施設の健全度（劣化・不具合）

(2) 施設の経済性に関する評価

スポーツ施設の経済性に着目し、収集したデータ（利用料金収入、利用者数、維持管理費用など）を基に個別評価を行った後、施設の経済性を「良」又は「劣」いずれかで評価します。

評価項目
・利用料金収入が年間 300 千円以上であるか
・維持管理費用が年間 1,000 千円未満であるか
・利用料金収入以外に広告料等の収入があるか
・大会での利用を含め年間利用者が 1,000 名以上であるか

(3) 個別施設の方向性【1次評価】

「(1)安全性・機能性等」「(2)経済性」の評価を基に、個別施設の方向性（「維持」「改善」「改廃」）を検討した結果を【1次評価】として、次のとおり示します。

方向性	整備方法	内容
維持	現状維持	施設の機能を維持しつつ長期的に使用を続ける
	長寿命化	計画的に改修等の保全を行いつつより長く使用する
改善	機能改修	経年劣化の対応を目的に改修する
	耐震性能	自身に対する安全性向上を目的に改修する
改廃	再整備（大規模改修）	現在の施設を解体し、現地又は別の敷地に新たに施設を整備する
	廃止（除却）	施設を解体・廃止する

(4) 個別施設の基本的な方針【2次評価】

前項の【1次評価】において、「維持」となった施設については、個別施設計画を「機能保持」とします。「改善」「改廃」となった施設については、「3-1 基本方針」の【方針2】優先順位の考え方に基づき、施設ごとに対策優先度を「高」又は「低」のいずれかで評価【2次評価】することにより、個別施設計画を「機能保持」「建替再整備」「総量削減」のいずれかに決定します。

評価基準（個別）	評価
<ul style="list-style-type: none">・市内若しくは近隣に代替施設がない・中体連・高体連の地区大会など、広域における役割分担を果たしている・日常的に維持管理を行っている団体がある・一般市民が気軽に施設を利用できる・近隣に公園施設や他のスポーツ施設が所在している・公共施設が少ない地域に所在するなど、地域の不均衡是正に貢献している・地域防止計画上の位置付けがある	高
<ul style="list-style-type: none">・市内若しくは近隣に代替施設がある・大会等での利用がほとんどない・日常的に維持管理を行っている団体がない・特定の団体等が主に施設を利用している・近隣に公園施設や他のスポーツ施設がない・他にも近隣に公共施設が所在している・地域防止計画上の位置付けがない	低

3-3 個別施設の評価及び施設計画

整備方針を踏まえた市内スポーツ施設の評価及び施設計画は下記のとおりです。

No.	施設名	一次評価			二次評価	
		安全性等	経済性	方向性	対策優先度	施設計画
1	小樽公園運動場	良	良	維持	高	機能保持 改修・修繕
2	小樽桜ヶ丘球場 同運営ハウス	良	良	維持	高	機能保持 改修・修繕
3	手宮公園競技場 同更衣室	良	良	維持	高	機能保持 改修・修繕
4	平磯公園運動場	良	劣	維持	高	機能保持 改修・修繕
5	からまつ公園運動場 同運営ハウス	良	劣	維持	高	機能保持 改修・修繕
6	望洋サッカー・ラグビー場 同運営ハウス	良	良	維持	高	機能保持 改修・修繕
7	小樽公園庭球場 同管理運営ハウス	良	劣	維持	低	機能保持 改修・修繕
8	入船公園庭球場 同運営ハウス	良	良	維持	低	機能保持 改修・修繕
9	からまつ公園庭球場	良	劣	維持	高	機能保持 改修・修繕
10	朝里川公園庭球場	良	劣	維持	低	機能保持 改修・修繕
11	朝里ダム湖畔園地運動場	良	劣	維持	低	機能保持 改修・修繕
12	小樽公園弓道場 同管理棟及び射場	良	良	維持	高	機能保持 改修・修繕
13	潮見台シャンツェ	良	劣	維持	低	機能保持 改修・修繕
14	祝津ヨットハウス	良	劣	維持	低	機能保持 改修・修繕
15	勝納艇庫 勝納漕艇研修センター	良	劣	維持	低	機能保持 改修・修繕
16	銭函パークゴルフ場	良	良	維持	高	機能保持 改修・修繕

第4章 計画の実施

4-1 個別施設の改修内容等

市内スポーツ施設の改修内容等については下記のとおりです。

No.	施設名	事業年度	備考
1	小樽公園運動場	2028～2037	グラウンド等改修
		2038～2047	夜間照明改修
		2048～2058	グラウンド等改修
2	小樽桜ヶ丘球場	2028～2037	観客席・トイレ等改修
		2038～2047	グラウンド・クラブハウス等改修
3	手宮公園競技場	2023	インフィールド改修
		2024	トラック走路改修、公認用備品購入
		2028～2037	第3種公認維持改修
		2038～2047	第3種公認維持改修
		2048～2058	第3種公認維持改修
4	平磯公園運動場	2038～2047	バックネット等改修
		2048～2058	グラウンド等改修
5	からまつ公園運動場	2028～2037	グラウンド芝改修、クラブハウス改修
		2048～2058	グラウンド芝改修
6	望洋サッカー・ラグビー場	2028～2037	グラウンド芝改修
		2048～2058	グラウンド芝改修
7	小樽公園庭球場	2038～2047	テニスコート改修
		2048～2058	防球ネット改修
8	入船公園庭球場	2028～2037	クラブハウス改修
		2038～2047	テニスコート改修
9	からまつ公園庭球場	2028～2037	テニスコート改修
10	朝里川公園庭球場	2038～2047	テニスコート改修
11	朝里ダム湖畔園地運動場	2038～2047	テニスコート改修
12	小樽公園弓道場	2028～2037	弓道場改修
		2048～2058	弓道場改修
13	潮見台シャンツェ	2038～2047	滑走路・フェンス改修
14	祝津ヨットハウス	2028～2037	ヨットハウス改修
		2048～2058	ヨットハウス改修
15	勝納艇庫・勝納漕艇研修センター	2038～2047	艇庫改修
16	銭函パークゴルフ場	2038～2047	コース芝等改修

4-2 官民連携手法の検討

公共施設等の建設・維持管理・運営等について、民間の資金、ノウハウ及び技術力を活用して行うPPP/PFI手法を採用することにより、事業コストを削減するだけでなく、より質の高い公共サービスの提供につながることが期待できます。

このことから、スポーツ施設の建設・維持管理・運営等についても、令和4年度に策定した「小樽市PPP/PFI手法導入優先的検討指針」に基づき、民間資金を活用した整備手法や管理手法について検討を行います。

4-3 実施スケジュール

施設の方向性や対策優先度の評価を踏まえた優先順位を示したのち、個別施設の対策スケジュールを示します。

(1) 実施スケジュール (6段階)

「3-2 個別施設の評価」に記載したとおり、対策の優先順位は「再整備」⇒「除却」⇒「改修・修繕」であることから、実施スケジュールは「機能保持（建替再整備）」⇒「総量削減」⇒「機能保持（改修・修繕）」の順となり、対策優先度の評価を踏まえ、さらに6段階で優先順位を示します。

実施スケジュールについて (6段階)

施設の方向性	維持	平磯公園運動場、小樽公園庭球場、入船公園庭球場、朝里川公園庭球場、朝里ダム湖畔園地運動場、潮見台ジャンツェ、勝納艇庫・勝納漕艇研修センター、銭函パークゴルフ場	小樽公園運動場、桜ヶ丘球場、手宮公園競技場、からまつ公園運動場、望洋サッカー・ラグビー場、からまつ公園庭球場、小樽公園弓道場、祝津ヨットハウス、
	改善	③	④ 機能保持
	改廃	② 総量削減	① 建替再整備
		低	高
対策優先度			

(2) 個別施設の対策スケジュール及び概算事業費

前項の6段階中、対策優先度の点数が高い順に改修・修繕等の対策を行います。なお、点数が同じ場合は、改善箇所数や対策費用の金額、財政状況等を踏まえて総合的に判断します。

以上を踏まえた市内スポーツ施設の対策スケジュールは下記のとおりであり、2058（令和40）年度までの36年間の概算事業費（対策費用）は総額46億2,500万円となる見込みです。

No.	施設名	対策年度	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	令和10～令和19 (2028～2037)	令和20～令和29 (2038～2047)	令和30～令和40 (2048～2058)	
1	小樽公園運動場				新総合体育館の建設などを考慮のうえ 長寿命化対策を行わない期間とした			グラウンド等改修 対策費用250,000千円	夜間照明改修 対策費用100,000千円	グラウンド等改修 対策費用140,000千円	
2	小樽桜ヶ丘球場							観客席・トイレ等改修 対策費用100,000千円	グラウンド等改修 対策費用370,000千円		
3	手宮公園競技場	インフィールド改修 対策費用75,000千円		トラック走路改修 対策費用171,000千円 公認用備品購入 対策費用20,000千円				第3種公認維持改修等 対策費用600,000千円	第3種公認維持改修等 対策費用730,000千円	第3種公認維持改修等 対策費用900,000千円	
4	平磯公園運動場								バックネット等改修 対策費用50,000千円	グラウンド等改修 対策費用100,000千円	
5	からまつ公園運動場							グラウンド芝改修 対策費用85,000千円 クラブハウス改修 対策費用15,000千円		グラウンド芝改修 対策費用130,000千円	
6	望洋サッカー・ラグビー場							グラウンド芝改修 対策費用120,000千円		グラウンド芝改修 対策費用120,000千円	
7	小樽公園庭球場								テニスコート改修 対策費用35,000千円	防球ネット改修 対策費用10,000千円	
8	入船公園庭球場							クラブハウス改修 対策費用15,000千円	テニスコート改修 対策費用50,000千円		
9	からまつ公園庭球場							テニスコート改修 対策費用130,000千円			
10	朝里川公園庭球場								テニスコート改修 対策費用35,000千円		
11	朝里ダム湖畔園地運動場								テニスコート改修 対策費用74,000千円		
12	小樽公園弓道場							弓道場改修 対策費用15,000千円		弓道場改修 対策費用15,000千円	
13	潮見台シャンツェ								滑走路等改修 対策費用100,000千円		
14	祝津ヨットハウス							ヨットハウス改修 対策費用15,000千円		ヨットハウス改修 対策費用15,000千円	
15	勝納艇庫 勝納漕艇研修センター								艇庫改修 対策費用20,000千円		
16	銭函パークゴルフ場								コース芝等改修 対策費用20,000千円		
対策費用の合計金額			266,000千円						1,345,000千円	1,584,000千円	1,430,000千円

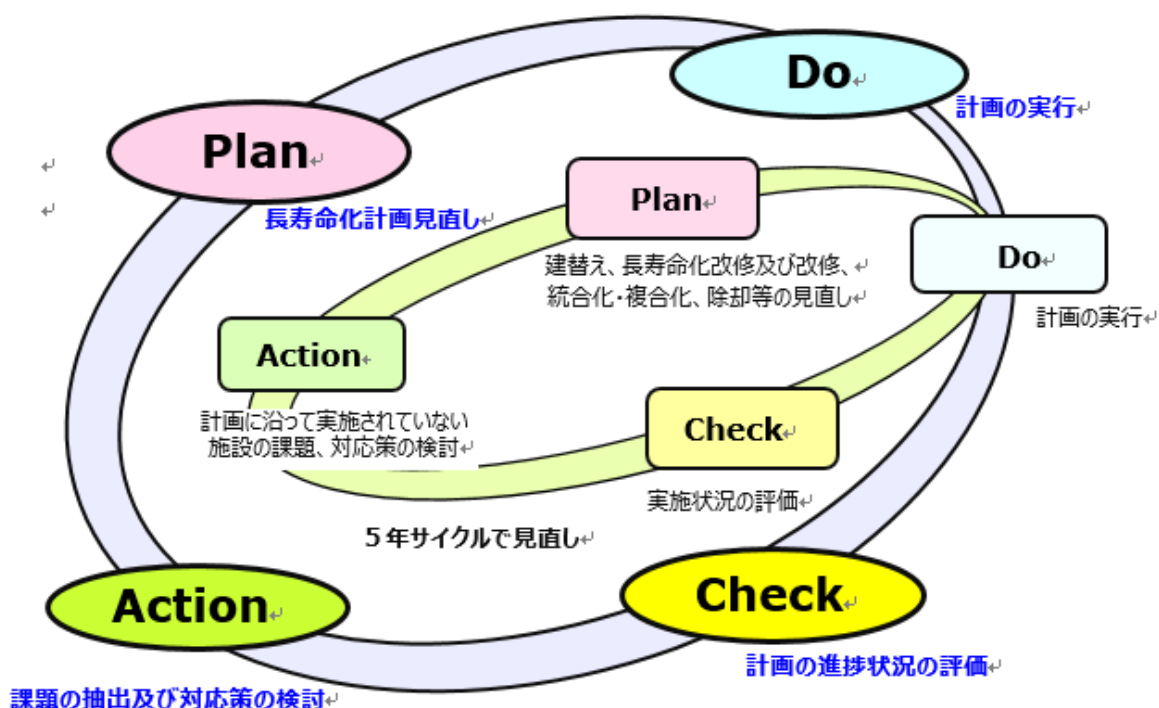
第5章 計画の推進に向けて

5-1 計画の推進体制

本計画は、庁内関係部局の長からなる関係部長会議において計画の進捗管理を行うとともに、学識経験者及び関係行政機関の職員で構成される「小樽市スポーツ推進審議会」との連携を図ることにより、小樽市公共施設等総合管理計画と整合した計画の推進を図ります。

5-2 計画の定期的な見直し

本計画を着実に推進していくため、人口減少や競技人口の動向を踏まえ、PDCA サイクル（Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善））に基づき概ね5年ごとに計画の見直し及び対策の内容精査を行います。



小樽市スポーツ施設長寿命化計画

令和5年〇月発行

-
- 発行 小樽市教育委員会
- 編集 小樽市教育委員会
教育部生涯スポーツ課
〒047-0034
小樽市緑3丁目4番1号
TEL 0134-32-4111 内線 7318